



## ボイスメールの設定

- [ボイスメールワークフローの設定 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Jabber で使用する Cisco Unity Connection の設定 \(2 ページ\)](#)
- [取得とリダイレクションの設定 \(3 ページ\)](#)
- [ボイスメール サービスを追加する \(5 ページ\)](#)
- [ボイスメールのクレデンシャルソースの設定 \(7 ページ\)](#)

## ボイスメールワークフローの設定

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">Cisco Jabber で使用する Cisco Unity Connection の設定 (2 ページ)</a>	Cisco Jabber がボイスメール サービスにアクセスできるように、Cisco Unity Connection を設定します。
ステップ 2	<a href="#">取得とリダイレクションの設定 (3 ページ)</a>	ユーザがボイスメールメッセージにアクセスできるように、取得を設定します。ユーザが着信コールをボイスメールに送信できるようにするために、リダイレクションを設定します。
ステップ 3	<a href="#">ボイスメール サービスを追加する (5 ページ)</a>	ボイスメール UC サービスを追加します。Jabber はこの情報を使ってボイスメール サーバに接続します。
ステップ 4	<a href="#">ボイスメール サービスの適用 (6 ページ)</a>	サービス プロファイルにボイスメール UC サービスを適用します。
ステップ 5	<a href="#">ボイスメールのクレデンシャルソースの設定 (7 ページ)</a>	ボイスメール サーバに接続するためのクレデンシャルを設定します。

# Cisco Jabber で使用する Cisco Unity Connection の設定

Cisco Jabber がボイスメール サービスにアクセスできるように、Cisco Unity Connection を設定するための特定の手順を実行する必要があります。ユーザ、パスワードの作成、ユーザへのボイスメール アクセスのプロビジョニングなどの一般タスクの手順については、Cisco Unity Connection のマニュアルを参照してください。



**メモ** Cisco Jabber は、REST インターフェイスを介してボイスメール サービスに接続し、Cisco Unity Connection リリース 8.5 以降をサポートします。

## 手順

- ステップ 1** [Connection Jetty] および [Connection REST Service] サービスが開始していることを確認します。
- [Cisco Unity Connection のサービスアビリティ (Cisco Unity Connection Serviceability) ] インターフェイスを開きます。
  - [ツール (Tools) ] > [サービスの管理 (Service Management) ] を選択します。
  - [オプションのサービス (Optional Services) ] セクションで、次のサービスを検索します。
    - [Connection Jetty]
    - [Connection REST Service]
  - 必要に応じて、サービスを開始します。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection の管理 (Cisco Unity Connection Administration) ] インターフェイスを開きます。
- ステップ 3** ユーザのパスワード設定を編集します。
- [ユーザ (Users) ] を選択します。
  - 適切なユーザを選択します。
  - [編集 (Edit) ] > [パスワードの設定 (Password Settings) ] を選択します。
  - [パスワードの選択 (Choose Password) ] メニューから [Web アプリケーション (Web Application) ] を選択します。
  - [次回サインイン時に、ユーザによる変更が必要 (User Must Change at Next Sign-In) ] をオフにします。
  - [保存 (Save) ] を選択します。
- ステップ 4** ユーザに Web Inbox へのアクセスを付与します。
- [サービス クラス (Class of Service) ] を選択します。  
[サービス クラスの検索 (Search Class of Service) ] ウィンドウが開きます。
  - 適切なサービス クラスを選択するか、サービスの新しいクラスを追加します。

- c) [Web Inbox と RSS フィードの使用をユーザに許可する (Allow Users to Use the Web Inbox and RSS Feeds)] を選択します。
- d) [機能 (Features)] セクションで、[ボイスメールへのアクセスに Unified Client の使用をユーザに許可する (Allow Users to Use Unified Client to Access Voice Mail)] を選択します。
- e) 必要に応じて、その他のすべてのオプションを選択します。
- f) [保存 (Save)] を選択します。

**ステップ 5** [API の設定 (API configuration)] を選択します。

- a) [システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] > [API 設定 (API Settings)] を選択します。  
[API の設定 (API Configuration)] ウィンドウが開きます。
- b) 次のオプションを選択します。
  - CUMI を介したセキュア メッセージ録音へのアクセスを許可する (Allow Access to Secure Message Recordings through CUMI)
  - [CUMI を介してセキュアメッセージのメッセージヘッダー情報を表示する (Display Message Header Information of Secure Messages through CUMI)]
  - CUMI 経由のメッセージ添付ファイルを許可する (Allow Message Attachments through CUMI)
- c) [保存 (Save)] を選択します。

---

### 次のタスク

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用している場合は、[ボイスメールサービスを追加する \(5 ページ\)](#)。

## 取得とリダイレクションの設定

ユーザがクライアント インターフェイスでボイスメール メッセージにアクセスできるように取得を設定します。ユーザが着信コールをボイスメールに送信できるようにするために、リダイレクションを設定します。Cisco Unified Communications Manager で取得とリダイレクションを設定します。

### 手順

---

**ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。

**ステップ 2** ボイスメール パイロットを設定します。

- a) [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)] の順に選択します。

[ボイスメールパイロットの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Pilots)] ウィンドウが開きます。

- b) [新規追加 (Add New)] を選択します。

[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウが開きます。

- c) [ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウで必要な詳細情報を指定します。
- d) [保存 (Save)] を選択します。

**ステップ 3** ボイスメールパイロットをボイスメールプロファイルに追加します。

- a) [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile)] の順に選択します。

[ボイスメールプロファイルの検索/一覧表示 (Find and List Voicemail Profiles)] ウィンドウが開きます。

- b) [次のボイスメールプロファイル名でボイスメールプロファイルを検索 (Find Voice Mail Profile where Voice Mail Profile Name)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してプロファイルの一覧を取得します。
- c) 対象のプロファイルを一覧から選択します。

[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウが開きます。

- d) [ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)] ドロップダウンリストでボイスメールパイロットを選択します。
- e) [保存 (Save)] を選択します。

**ステップ 4** 電話番号設定でボイスメールプロファイルを指定します。

- a) [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。

[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが開きます。

- b) [電話を次の条件で検索 (Find Phone where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してデバイスの一覧を取得します。
- c) 対象のデバイスを一覧から選択します。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが開きます。

- d) [割り当て情報 (Association Information)] セクションを探します。
- e) 適切なデバイス番号を選択します。

[電話番号設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが開きます。

- f) [電話番号の設定 (Directory Number Settings)] セクションを探します。
- g) [ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile)] ドロップダウンリストからボイスメールプロファイルを選択します。
- h) [保存 (Save)] を選択します。

## 次のタスク

[ボイスメールのクレデンシャル ソースの設定 \(7 ページ\)](#)

# ボイスメール サービスを追加する

ボイスメール サービスを追加して、ユーザがボイス メッセージを受信できるようにします。

## 始める前に

[Cisco Jabber で使用する Cisco Unity Connection の設定 \(2 ページ\)](#)

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [UC サービス (UC Service) ] を選択します。  
[UC サービスの検索と一覧表示 (Find and List UC Services) ] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3 [UC サービスの検索/一覧表示 (Find and List UC Services) ] ウィンドウで、[新規追加 (Add New) ] を選択します。  
[UC サービスの設定 (UC Service Configuration) ] ウィンドウが開きます。
- ステップ 4 [UC サービスの追加 (Add a UC Service) ] セクションで、[UC サービスタイプ (UC Service Type) ] ドロップダウン リストから [ボイスメール (Voicemail) ] を選択して、[次へ (Next) ] を選択します。
- ステップ 5 ボイスメール サービスの詳細を次のように指定します。
  - [製品タイプ (Product Type) ] : [Unity Connection] を選択します。
  - [名前 (Name) ] : PrimaryVoicemailServer などのサーバの記述名を入力します。
  - [ホスト名/IPアドレス (Hostname/IP Address) ] : ボイスメールサーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。
  - [ポート (Port) ] : ポート番号を指定する必要はありません。デフォルトでは、クライアントは常にポート 443 を使用して、ボイスメールサーバに接続します。そのため、ユーザが指定する値は有効になりません。
  - [プロトコルタイプ (Protocol Type) ] : 値を指定する必要はありません。デフォルトでは、クライアントは常に HTTPS を使用して、ボイスメールサーバに接続します。そのため、ユーザが指定する値は有効になりません。
- ステップ 6 [保存 (Save) ] を選択します。

## 次のタスク

[ボイスメール サービスの適用 \(6 ページ\)](#)

# ボイスメール サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager でボイスメール サービスを追加した後、クライアントがその設定を取得できるようにするために、そのボイスメール サービスをサービス プロファイルに適用します。



(注) Cisco Jabber は、電話モードのみで展開している場合はボイスメール UC サービス プロファイルを読み取りません。

Cisco Jabber がボイスメール サーバ情報を取得できるようにするには、jabber-config.xml ファイルをボイスメール パラメータで更新します。

```
<Voicemail>
<VoicemailService_UseCredentialsFrom>phone</VoicemailService_UseCredentialsFrom>
<VoicemailPrimaryServer>X.X.X.X</VoicemailPrimaryServer>
</Voicemail>
```

更新が完了したら、すべての Cisco Unified Communications Manager TFTP サーバに jabber-config.xml ファイルをアップロードし、TFTP サーバノードで TFTP サービスを再起動します。Jabber クライアントをリセットします。

## 始める前に

[ボイスメール サービスを追加する \(5 ページ\)](#)

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [サービス プロファイル (Service Profile) ] の順に選択します。  
[サービス プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Service Profiles) ] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。  
[サービス プロファイルの設定 (Service Profile Configuration) ] ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** [ボイスメール プロファイル (Voicemail Profile) ] セクションで、以下のような設定を行います。
  - a) 次のドロップダウン リストから、サービスを最大 3 つ選択します。

- **Primary**
- セカンダリ
- ターシャリ (Tertiary)

b) [ボイスメールサービスのクレデンシャルソース (Credentials source for voicemail service) ] で、次のいずれかを選択します。

- [Unified CM - IM and Presence (Unified CM - IM and Presence) ] : インスタントメッセージおよびプレゼンスのクレデンシャルを使用してボイスメールサービスにサインインします。このため、ユーザはクライアントでボイスメールサービスのクレデンシャルを入力する必要ありません。
- [Web会議 (Web conferencing) ] : 会議クレデンシャルを使用してボイスメールサービスにサインインする、このオプションはサポートされません。現時点では、会議クレデンシャルとは同期できません。
- [未設定 (Not set) ] : このオプションは、電話モード展開の場合に選択されます。

ステップ5 保存をクリックします。

## ボイスメールのクレデンシャルソースの設定

ユーザのボイスメールのクレデンシャルソースを指定できます。



**ヒント** ハイブリッドクラウドベース展開では、VoiceMailService\_UseCredentialsForm パラメータを使用して、コンフィギュレーションファイルの一部としてボイスメールのクレデンシャルソースを設定できます。

始める前に

[取得とリダイレクションの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

- ステップ1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] インターフェイスを開きます。
- ステップ2** [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [サービス プロファイル (Service Profile) ] の順に選択します。
- ステップ3** 適切なサービス プロファイルを選択し、[サービス プロファイルの設定 (Service Profile Configuration) ] ウィンドウを開きます。

**ステップ 4** [ボイスメールのプロファイル (Voicemail Profile)] セクションの [ボイスメール サービスの認証情報ソース (Credentials source for voicemail service)] ドロップダウンリストから、[Unified CM - IM およびプレゼンス (Unified CM - IM and Presence)] を選択します。

(注) [ボイスメールサービスの認証情報ソース (Credentials source for voicemail service)] ドロップダウンリストから [Web カンファレンシング (Web Conferencing)] を選択しないでください。ボイスメールサービスのクレデンシャルソースとして会議のクレデンシャルは現時点では使用できません。

---

ユーザのインスタントメッセージングおよびプレゼンスのクレデンシャルは、ユーザのボイスメールクレデンシャルに一致します。このため、ユーザは、クライアントユーザインターフェイスでボイスメールクレデンシャルを指定する必要はありません。

### 次のタスク



**重要** サーバ間でクレデンシャルを同期するメカニズムはありません。クレデンシャルソースを指定する場合、それらのクレデンシャルがユーザのボイスメールクレデンシャルに一致することを確認する必要があります。

たとえば、ユーザのインスタントメッセージおよびプレゼンスのクレデンシャルとユーザの Cisco Unity Connection クレデンシャルが一致するように指定します。ユーザのインスタントメッセージおよびプレゼンスの各クレデンシャルが変更されたとします。この場合、そのユーザの Cisco Unity Connection クレデンシャルは、変更内容に合わせて更新する必要があります。

クラウドベースの展開では、設定ファイルのパラメータ `VoicemailService_UseCredentialsFrom` を使用できます。Cisco Unified Communications Manager クレデンシャルを使用して Cisco Unity Connection にサインインするには、このパラメータの値を `phone` に設定します。

---